

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

特別会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	介護予防普及啓発事業（美原区）			事業番号	217-015
担当部署名	美原区役所	局	美原保健福祉総合センター	部	美原保健センター

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①自立支援・介護予防・健康増進の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率		
		寄与するKPI	有	現状値	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	介護保険法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各区			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	要介護認定を受けた高齢者のうち非該当と決定された者等	対象数	単位	
			29	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態の予防（介護予防）を図ることを目的としている。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	保健センターの看護師が要介護認定の非該当高齢者等の居宅を訪問するなど、生活における問題を総合的に把握・評価し、必要な相談・指導を実施する。主に認知症、閉じこもり、うつのある高齢者に対して訪問する。訪問により、認知症予防、運動機能向上、口腔機能向上、低栄養の防止を目的とした指導助言を行う。一般高齢者ならびに要介護状態の予防に効果が認められる対象者については複合型介護予防教室につなげる。複合型介護予防教室参加者のうち要介護状態に陥る可能性がある参加者への個別支援を実施している。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	なし			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	複合型介護予防教室参加延人数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	30	47	48	50
			実績値	47	83		
達成率	157%	177%					
	当該指標を選定した理由	教室に継続的に参加することでフレイル状態に陥らないようにする。					
	目標値の設定根拠・算出方法	コロナ禍前の実績をもとに算出					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	被訪問延人数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	30	30	30	
			実績値	23	44		
達成率	77%	147%					
	当該指標を選定した理由	訪問により、要介護状態予防のための日常生活上のアドバイスを提案し、介護予防、健康寿命の延伸を図る。					
	目標値の設定根拠・算出方法	コロナ禍前の実績をもとに算出					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	介護予防普及啓発事業（美原区）	事業番号	217-015
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	2,680	2,660	2,789	2,680	2,790
13 財源					
国支出金	670	664	697	685	697
府支出金	335	332	348	334	348
市債					0
内 其他（被保険者保険料）	724	718	753	723	753
内 受益者負担金(使用料、手数料等)					0
内 一般財源	951	946	991	938	992
14 人件費 (b)	0	0	0	0	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	2,680	2,660	2,789	2,680	2,790

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R4	決算	2,108	732		
		R5	予算	2,111	751		
	期末手当（会計年度任用職員）	R4	決算	457	162		
		R5	予算	457	162		
	旅費（通勤費）	R4	決算	51	21		
		R5	予算	158	56		
	消耗品費	R4	決算	64	23		
		R5	予算	64	23		
		R4	決算				
		R5	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 被訪問延人数	人	23	44
② 上記①にかかる年間経費	千円	798	804
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	34,696	18,273
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3密を避け、対象者の安心を担保するために訪問から希望者には電話での支援も選択できる手法に切り替えた。</p> <p>フレイル予防の必要性を伝え、必要時資料の郵送を行うなど介護予防の支援につなげることができた。</p> <p>コロナ禍による自粛生活の中で介護予防の重要性は益々高まっている。訪問支援では対象者の実情に合わせて柔軟に関係機関とも連携をとり支援体制をとった。訪問支援以外の取り組みでは保健センターの介護予防専門職として個別・集団支援に加え、高齢者を取り巻く関係機関との連携や美原保健センターでの重点取り組みである介護予防に資する通いの場の創出にも寄与しており、美原区の介護予防の普及啓発に望まれる費用対効果を上げている。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>長期に亘る新型コロナウイルスの感染症の影響から、高齢者が生活不活発に陥りやすい状況となっている中、要介護認定の非該当高齢者の実態把握を行い、個別の支援を行うことは、要支援要介護状態に移行する前段階の支援として重要な取組である。</p> <p>個別での働きかけを行うことにより、フレイルや閉じこもりの恐れのある高齢者1人1人の状況に適した介護予防教室や地域の通いの場への参加に効果的につなげることができており、これにより、心身状態の改善を図り、要支援要介護状態への進行を防ぐことに寄与している。</p>
----	---